

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 知能機械工学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1-712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@bunka.uec.ac.jp	工事中

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>1. 前学期に引き続き、様々な書き方を身につける（全項目を網羅するわけではない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* しっかりした構成で論点の明確なエッセイを書く * 要約文を書く * 経験したことについて書く</li> <li>* 物事を描写する * レポート（報告文）を書く（プレゼンテーションの準備として） * ストーリー（物語）を書く * 説明文を書く</li> </ul> <p>2. 前学期に引き続き、自主的に読んだり書いたりする態度を身につけ、書きことばとしての英語に自信をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* AWEIで身につけたスキル、能力、知識を増強する</li> <li>* 書く前の準備や書いてからの推敲について学ぶ</li> <li>* クラスメートの文を読んで適切なフィードバックを与える</li> <li>* 大学図書館やインターネットなどを活用してリサーチをし、盗用に注意したうえで、リサーチしたものを基にレポート作成にあたる</li> <li>* 自己評価のスキルを身につける</li> <li>* 教師と学生の協働によるカリキュラム作成に参加する</li> </ul> <p>3. 前学期に引き続き、批判的思考に必要となる基本的なスキルを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 批判的な読み方（クリティカル・リーディング）を身につける（例：テキストの内容を分析する、しっかりした根拠に基づいているかどうかを判断する、偏った考え方に基づいて書かれていないかどうかを判断する）</li> <li>* テキストを読み、批判的な立場から反論する文章を書く</li> <li>* 第三者的立場から論じる文章を書く</li> <li>* リサーチの方法を身につけ、主張の裏づけに活用する</li> <li>* データを基に根拠のある結論を導く</li> </ul>
---

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【前もって履修しておくべき科目】

なし。

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし。

### 【教科書等】

Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

### 【授業内容とその進め方】

#### a) 授業内容

授業計画（A4で2枚）を授業時に配布する。なお、関連図1を参照のこと。

#### (b) 授業の進め方

教科書のモデル学習を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は各自の興味に応じて個別学習を行う。その結果を様々な形で発表し、他の学生の評価を参考にしながら最終課題に取り組む。具体的には、自分の興味のあるトピックを選び、問題を設定し、様々な資料を利用して自分なりの解決策をまとめて発表するといった作業を英語（一部日本語）で行う。レポート・ポスターの作成やプレゼンテーション・ディスカッション等に取り組む。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法

1) 授業の2/3以上出席していること。

2) 課題等

R1, R2, R3: 学習するUnitの内容を、日本語および英語で要約し、語彙リストを添付する。

R4: 学習するUnitの英文（の一部）を読み録音する。

R5: 自分の選んだ課題をposterに仕上げる。

R6: 自分の選んだ課題をpresentationに仕上げる。

3) 英語のリズム学習: 講義の始め(T1)、中間(T2)および終わり(T3)に英語表現を録音し評価を測定する。また、講義期間中に自主学習として英語のリズムの訓練をして結果をレポートにまとめる。

4) TOEICでの英語力の一部の客観的実力の証明

以下の項目を総合的に評価する。

R1, R2, R3 7×3=21% R4 15% R5 & R6 50% Rhythm 14%

(b) 評価基準: 以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

要求されている課題等が提出されており、以下の科目の教育目標をほぼ達成していること。

a) 様々な書き方が身についている

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

- b) 自主的に読んだり書いたりする態度を身につけて、書きことばとしての英語に自信がある
- c) 批判的思考に必要となる基本的なスキルが身につけている

### 【オフィスアワー：授業相談】

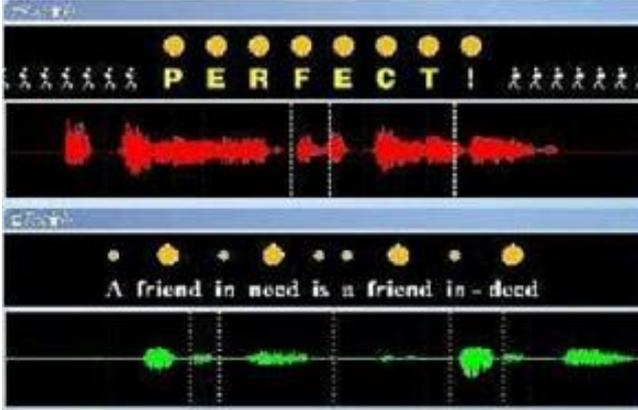
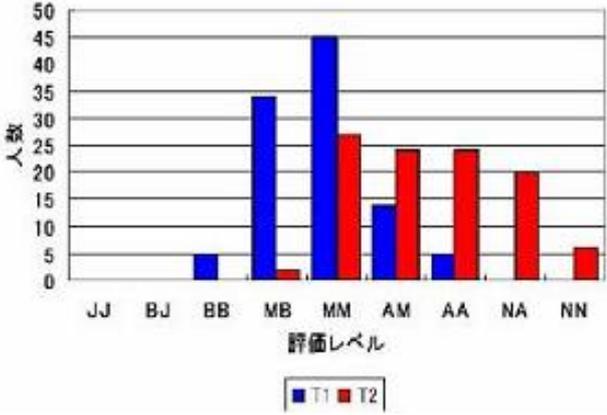
- \* 火曜日 12:30 ~ 14:00 水曜日 13:00 ~ 15:00 金曜日 13:00 ~ 17:00
- \* 簡単な質問は、e-mailでも受け付ける。
- \* 時間を要する質問・相談はe-mailで予約すること。

### 【学生へのメッセージ】

受講する時点での学生の英語力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク、将来英語を武器に世界の舞台で専門技術を生かしたい・・・どんな学生でも歓迎する。ただし、1年間英語を自主的・総合的に学んで、TOEICテストの得点なら、100点くらいUPさせたいと希望する意思力・体力・実行力のある学生が理想的（ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため）。講義・自主学習・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる真の英語力の獲得を強く望む学生の履修を強く望む。

### 【その他】

- \* R4の録音および録音ファイルの作成は、講義の中で説明する。実際の録音は言語自習室で行う。
- \* 録音や課題作成のためにUSBを使用するので、各自準備すること。
- \* リズム学習の方法は、講義の中で説明する。実際の学習は現在作成中のe-learning 学習ソフトを参考に言語自習室で自主学習として行う。

関連図1	関連図2																														
<p>講義予定</p> <table border="0"> <tr> <td>1 講義の説明</td> <td>8 Unit 18 Reading</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9 Unit 18 Writing</td> </tr> <tr> <td>2 Unit 16 Reading</td> <td>10 Unit 18 Discussion &amp; Presentation</td> </tr> <tr> <td>3 Unit 16 Writing</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 Unit 16 Discussion &amp; Presentation</td> <td>11 自分のトピックの研究(1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12 自分のトピックの研究(2)</td> </tr> <tr> <td>5 Unit 17 Reading</td> <td>13 自分のトピックの研究(3)</td> </tr> <tr> <td>6 Unit 17 Writing</td> <td>14 研究発表(1)</td> </tr> <tr> <td>7 Unit 17 Discussion &amp; Presentation</td> <td>15 研究発表(2)</td> </tr> </table>	1 講義の説明	8 Unit 18 Reading		9 Unit 18 Writing	2 Unit 16 Reading	10 Unit 18 Discussion & Presentation	3 Unit 16 Writing		4 Unit 16 Discussion & Presentation	11 自分のトピックの研究(1)		12 自分のトピックの研究(2)	5 Unit 17 Reading	13 自分のトピックの研究(3)	6 Unit 17 Writing	14 研究発表(1)	7 Unit 17 Discussion & Presentation	15 研究発表(2)	<p>ICTのリズム分析・評価・学習</p>  <p>総合評価</p> <p>あなたの総合評価結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NN 非常に Native speakers に近いリズム</li> <li>NA Native speakers と上級者(A)の間のリズム</li> <li>AA 日本人の英語の上級者としてのリズム</li> <li>AM 上級者(A)と中級者(M)の間のリズム</li> <li>MM 日本人の英語の中級者としてのリズム</li> <li>MB 中級者(M)と初級者(B)の間のリズム</li> <li>BB 日本人の英語の初級者としてのリズム</li> <li>BJ 初級者(B)と英語学習経験の無い日本人の間のリズム</li> <li>JJ 英語学習経験の無い日本人のリズム</li> </ul>												
1 講義の説明	8 Unit 18 Reading																														
	9 Unit 18 Writing																														
2 Unit 16 Reading	10 Unit 18 Discussion & Presentation																														
3 Unit 16 Writing																															
4 Unit 16 Discussion & Presentation	11 自分のトピックの研究(1)																														
	12 自分のトピックの研究(2)																														
5 Unit 17 Reading	13 自分のトピックの研究(3)																														
6 Unit 17 Writing	14 研究発表(1)																														
7 Unit 17 Discussion & Presentation	15 研究発表(2)																														
関連図3	関連図4																														
	<p>リズム評価 (T1 T2)</p>  <table border="1"> <caption>リズム評価 (T1 T2) 人数</caption> <thead> <tr> <th>評価レベル</th> <th>T1 (人数)</th> <th>T2 (人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>JJ</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>BJ</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>BB</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>MB</td><td>35</td><td>2</td></tr> <tr><td>MM</td><td>45</td><td>28</td></tr> <tr><td>AM</td><td>15</td><td>25</td></tr> <tr><td>AA</td><td>5</td><td>25</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td><td>20</td></tr> <tr><td>NN</td><td>0</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	評価レベル	T1 (人数)	T2 (人数)	JJ	0	0	BJ	0	0	BB	5	0	MB	35	2	MM	45	28	AM	15	25	AA	5	25	NA	0	20	NN	0	8
評価レベル	T1 (人数)	T2 (人数)																													
JJ	0	0																													
BJ	0	0																													
BB	5	0																													
MB	35	2																													
MM	45	28																													
AM	15	25																													
AA	5	25																													
NA	0	20																													
NN	0	8																													